

効果的なデータ活用のための

LIVE配信 アーカイブ配信	電子実験ノートの導入と共有・利活用ノウハウ
7日間何度でも 視聴可能	

- ◆日時：2025年2月27日(木) 10:00～16:00 ◆受講料：(消費税等込) 1名:49,500円
同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合 1名:44,000円
- ◆会場：WEB受講のみ (Zoomシステム) ◆受講資料：PDF資料 (受講料に含)
ライブ配信/アーカイブ配信(7日間、何度でも視聴可)
※当日の出席・欠席の有無は問いません

研究・実験データの共有・データ蓄積方法、電子実験ノートの種類・特徴、データ共有基盤のメリット/デメリット、データ蓄積での注意すべき点、蓄積されたデータ分析の注意点、データ蓄積を行うための意識改革、研究・実験データの共有、利活用を促進の体制・条件について、豊富な経験と研究に基づき、実践的に分かりやすく解説する特別セミナー !!

【講師の言葉】

IoTやAIの普及により、製造工程以降のデータ利活用は急激に進展しています。一方、公的研究機関であれ、民間企業であれ、R&D部門におけるデータの取り扱いが属人的なままであり、研究の信頼性が阻害されたり、効果的なデータの利活用がほとんど進んでいないのが実態です。

本講演では、まず、R&D部門のデータ共有、利活用の実情をお話しさせていただき、データ共有、利活用が進まない状況がなぜ発生してしまうのか？そのような状況にはどのような問題がはらんでいるのか？等を説明させていただきます。

次に、データ共有、利活用状況を改善するために必要な方策に関して、電子実験ノートを導入する際に必要な要件及び、各個人に必要な意識改革や会社としての体制づくり等を説明させていただきます。

最後に、電子実験ノートを導入、運用に陥りがちな落とし穴とそれらの回避方法に関して解説させていただきます。

【受講形式】WEB受講のみ ※本セミナーは、Zoomシステムを利用したオンライン配信となります。

- 【受講対象】
- ・データ管理でお困りの方
 - ・自社及び他の一般的なR&D部門のデータ管理、利用、活用状況を知りたい方
 - ・R&D部門のデータに対して、AIを活用したい、させたいと考えられている方
 - ・R&D部門のデータの利用、活用を推進することのメリットを具体的に知りたい方

【予備知識】特にありませんが、R&D部門の自社での実情を知っていたり、知りたいと思っいることが必要です。

- 【習得知識】
- 1) 研究・実験データの共有、利活用状況を改善するためのデータ蓄積方法
 - 2) 電子実験ノートの種類とその特徴
 - 3) 電子実験ノートを含む様々なデータ共有基盤のメリット、デメリット
 - 4) データ探査、分析を意識したデータ蓄積での注意すべき点
 - 5) 蓄積されたデータを使ってデータ分析を行う時の注意すべき点
 - 6) データ探査、分析を意識したデータ蓄積を行うための意識改革
 - 7) 研究・実験データの共有、利活用を促進するためのシステムと体制の条件

●申込書・2025年2月27日(木)「電子実験ノートの導入と共有・利活用ノウハウ」

会社名	〒	住所
TEL		FAX
正式所属		正式所属
受講者名		受講者名
E-mail		E-mail
振り込み 予定		通信欄

セミナーご案内 関連部署へご回覧願います

◆ プログラム ◆

【講師】 株式会社キャトルアイ・サイエンス 代表取締役 上島 豊 先生
博士(工学)
元、日本原子力研究開発機構

1. はじめに

講演者のR&D実績とデータ共有の
取り組みについて

2. R&D部門のデータ共有の実情

- 2.1 R&D部門のデータ共有状況
- 2.2 属人的データ共有状況が引き起こす問題
- 2.3 属人的データ共有状況が生み出される原因

3. データ共有状況を改善するために必要な方策

- 3.1 属人的データ共有状況を脱するために必要な方策
- 3.2 データ共有基盤としての電子実験ノートのメリット、デメリット及び選択基準
- 3.3 データ探査、分析を意識したデータ蓄積方法

3.4 データ分析は、どのようにして行うのか？

3.5 データ共有、利活用状況を改善するために必要なプロジェクトチームの作り方

3.6 プロジェクトメンバーに求められる資質

4. 電子実験ノートを導入、運用する場合の注意点

- 4.1 電子実験ノート導入によるデータ共有、利活用の改善例
- 4.2 電子実験ノート導入時に陥りがちな落とし穴とそれを防ぐ方策
- 4.3 電子実験ノート運用後に陥りがちな落とし穴とそれを防ぐ方策

5. まとめ 質疑・応答

- 【受講者の声】
- ・社内DXの活用という方針は示されたものの、活用の仕方が不明瞭なまま見切り発車感があって、この状態に対する何かいいヒントが得られればと思い、本セミナーに参加いたしました。内容が求めている答えに近く、今後どのように進めていっていいかが見えてきました。これから様々な方面に働きかけて、良い方向に進めていきたいと思いました。この度はありがとうございました。
 - ・電子実験ノートの導入が進行中であり、今回の研修で得た情報を作成中のCSV計画書やユーザー要求仕様書に活用したいと思います。
 - ・DX・AI導入における現実的な課題と、そのために必要な準備・対応策を学ぶことができ、大変勉強になりました。
 - ・学びたい内容が網羅されており、質問もできて有意義でした。
 - ・説明も分かりやすく有意義な内容でとても良かったです。

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法

- ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
- ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

●お支払い方法

- 受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。
- 経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。
- 振り込み手数料は御社の御負担にて願います。

●申込先 TH企画 セミナーセンター 株式会社 TH企画

〒108-0014 東京都港区芝4-5-111-5F
TEL: 03-6435-1138
FAX: 03-6435-3685
E-mail: th@thplan.com

→ (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<https://www.thplan.com/>